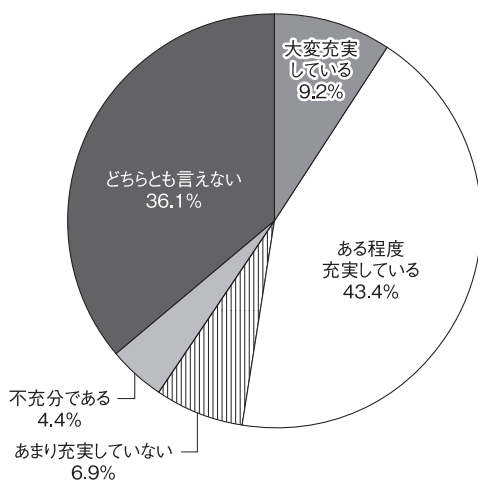


奨学金制度の充実度

問28

本学の奨学金制度は充実していると思いますか？



奨学金制度の充実度は過半数を超える学生が『充実している』と回答

本学の奨学金制度の充実度を尋ねたところ、学部生においては「ある程度充実している」と回答した学生が43.4%となり、一番高い比率を占めている。「大変充実している」と回答した学生が9.2%であり、両方を合わせると52.6%の学生が「充実している」と考えているようである。一方、「あまり充実していない」と回答した学生は6.9%であり、「不十分である」と回答した学生は4.4%であった。「あまり充実していない」、「不十分である」の両方を合わせると11.3%となる。回答の選択肢に「どちらとも言えない」という選択肢があるが、この回答が36.1%であり、この回答をどう受け止めるべきか、悩ましいところである。

また、「大変充実している」と「ある程度充実している」と回答した学生を『充実している』、「あまり充実していない」と「不十分である」と回答した学生を『充実していない』とし、その割合を問17（自身の経済状況）とのクロス集計でみると、『充実している』については、経済状況による割合にあまり差異がみられないが、『充実していない』については、経済的に「余裕がある」とした学生が7.7%、「やや余裕がある」8.3%、「あまり余裕がない」12.7%、「余裕がない」18.6%となり、経済状況に「余裕がない」と回答した学生ほど「制度が不十分」と感じている傾向がある。同じ奨学金を受給していても経済的に余裕がなければ、「不十分」に感じるという実情がうかがえる。

とはいえ、これらの結果全体を眺めれば、制度の充実度合を測ることができ、そしてその評価としては、本学の奨学金制度については「ある程度充実している」と言えるのではないだろうか。